たんさく
シリーズ 青森県の難読地名を歩く⑤

弘前市狼森（〇〇〇〇〇）・独狐（〇〇〇）

読み方はそれぞれの記事の最後を見てね


大狼神社


陸羯南の詩碑


大狼神社の鳥居


独狐の森公園から見る岩木山


南側の展望台からの風景


松並木

狼森（〇〇〇〇〇）

南端をアップルロードが通る地域で、狼が近くの森に住んでいたことが由来として考えられますが実態は不明です。そこに住んでいたと思われるニホンオオカミはすでに日本から絶滅しています。

現在はいなくなってしまったニホンオオカミは昔、人に被害を出しており江戸時代のある年の記録では弘前藩で狼に襲われて1年間に86人が亡くなったというものがありました。狼は頭が良く動きも素早いため、猟師も狩猟に苦戦したという記録もあります。しかしながら明治時代になると犬の病気や狩猟の自由化、狩猟道具の進歩などの理由で絶滅したと考えられています。

狼森のアップルロードを挟んだ向かい側にある大和沢という地域には、大狼神社という稲荷神社があります。もしかすると名前に狼とついているので関連しているかもしれませんが、神社敷地内の立て看板によると、創建はニホンオオカミが絶滅したあとの昭和29年で近くにある稲荷神社からの分神だそうです。大狼神社から少し遊歩道を登ったところに明治時代の3大記者の一人で、正岡子規を支援し続けた陸羯南（くがかつなん）の詩碑が弘前の街並みと岩木山を望める場所にあります。

※狼森（おいのもり）と読みます。岩手県にも同じ読みの地名があり、宮沢賢治の童話に「狼森と笊森、盗森」（おいのもりとざるもり、ぬすともり）という作品があります。

独狐（〇〇〇）

地名の由来は一匹の狐が…から始まりそうですが、地名の由来は不明です。地名の由来にを集めた書籍では、修行僧がもっていた独鈷杵（〇〇〇しょ）やそれと似た遺跡から出土する独鈷石が由来として考えられることが記載されています。

地域内には、目の前の岩木山とりんご畑、麓の町が見渡せる映画「奇跡のリンゴ」のロケ地にも使われた「独狐の森公園」があり、敷地の一部は松笠森遺跡とよばれる江戸時代にはすでに知られていた3重の堀に囲まれた遺跡があります。遺跡からは縄文時代の土器や石器、平安時代の土師器（はじき、弥生土器の流れを組む、古墳時代以降に作られるようになる素焼きの土器）が出土したことから縄文時代に集落があった後、平安時代に3重の堀を作り住居以外の使われ方をしていたと考えられています。

地域内には他に、縄文、平安の遺跡で生活の跡が少ないことからキャンプ場のように使われていたと考えられている独狐遺跡や独狐七面山遺跡があります。

※独狐（とっこ）と読みます。


◀独鈷杵

～海をきれいに～　夏泊クリーンアップ

報告：組合員活動部



7月26日(日)にコープあおもり主催で夏泊半島大島の海岸清掃を行いました。19名の参加者と他団体で実施しました。

清掃終了後は、海岸清掃を通してごみ削減の大切さと自分たちにできることについて交流したり、C.シチリア産レモンのレモネードとC.国産小麦とおからのドーナツの試食で、コープのエシカル商品について参加者の皆さんにお知らせしました。











●ゴミを拾っての参加者の感想
- ペットボトルのキャップが小さいのにとても目立っていた。
- 大きくて目立つゴミは景観も汚します。
- 食品を入れたプラスチックが海洋プラスチックになるかと思うとぞっとします。
- 漁具のプラスチックが多く、すぐに袋がいっぱいになりました。
- クリーンな活動をした後、清々しい気持ちになれる。



●環境問題について今からできること
- ポイ捨てしない。ごみの分別をきちんとする。
- マイボトルを使ってペットボトルはなるべく買わない。



【C.シチリア産レモンのレモネード】
- さっぱりした味でビタミンCも取れておいしい
- 酸味が苦手だが、嫌な苦味もなく後味スッキリ



【C.国産小麦とおからのドーナツ】
- 優しい甘さで、しっとりしてとてもおいしい
- ちょうど良い大きさでおからの風味が良かった

はばたき9月号8面にて、大島での海岸清掃について、ブルーピースアオモリ主催と記載しましたが、正しくはコープあおもり主催、ブルーピースアオモリ共催でした。お詫び訂正いたします。

発行　生活協同組合コープあおもり　〒038-0012　青森市柳川二丁目4－22　017-766-1614　FAX017-766-1462
コープあおもりのホームページ《https://www.aomori.coop/》　／ 印刷　㈱サンエイ　017-738-0040